

新規就農者確保と青年農業者組織支援による 新たな担い手の育成

相双農林事務所農業振興普及部

1 背景・ねらい

市町村別農業経営体数（農業センサス）

	H22	H27	減少数	減少率
相馬市	1,285	915	370	28.8%
南相馬市	3,086	1,664	1,422	46.1%
新地町	536	398	138	25.7%
飯館村	771	-	-	-

市町村別住民帰還率（市町村HP（令和2年7～8月））

	南相馬市		飯館村
	原町・鹿島区	小高区	
H23.3時点人口（人）	58,719	12,842	6,509
居住人口（人）	51,122	3,757	1,465
住民帰還率	87%	29%	23%

相馬地域は東日本大震災によって、住民避難や農地被災の影響を受け、全市町村で農業経営体数は減少している。中でも南相馬市小高区をはじめとする旧避難指示区域では、住民の帰還率が3割程度に留まっており、担い手不足が深刻化している。

一方、営農の省力化や農地の高度利用を促進するため、令和2年度には41地区3,845haでほ場整備事業が進んでいる。大規模な農地を少ない担い手で効率的に耕作するため、ほ場整備を契機とした集落営農の推進が行われている。

相馬地域の農業を維持・発展させていくには、県内外から新規就農者を確保し、就農後の定着を組織的に支援していく、新たな担い手づくりの仕組みが必要である。

2 活動内容

◎新規就農までのステップ

	就農相談	就農体験	長期の就農研修	就農（独立、雇用）及び定着
支援チームの対応 (1)	1. 就農希望者への情報提供 2. 農業人フェア等で面談 3. 就農体験バスツアー 4. 教育機関との連携 (2)	1. 研修環境の整備 2. 研修状況確認（本人・研修先）	1. 各種支援制度の提案 2. 就農研修計画の作成支援 3. 研修状況確認（本人・研修先） 4. 交流の場づくり	1. 各種支援制度の提案 2. 営農計画の作成支援（独立時） 3. 就農状況確認 4. 交流の場づくり (3)

◎重点的に行っている活動

(1) 支援チームの連携強化

○相双地域新規就農・企業参入推進検討会議

市町村、JAや農業振興公社等の参集により、関係機関が丸となって新規就農者確保意識を高めるための会議を開催し、新規就農者確保に向けた方針や取組を共有。



相双地域新規就農・企業参入推進検討会議

(2) 新規就農者確保に向けた活動

○情報発信や就農イベントの開催

○教育機関との連携

県外の就農希望者に対して相双地域の魅力発信や農業への理解醸成を行うため、Webサイト上での情報発信や都市圏での就農イベント（マイナビ就農FEST等）への参加、現地バスツアーを開催。また、学生の就農意欲向上を目指し、農業高校生及び農業短大生の農業法人ツアーを開催。



マイナビ就農FEST

(3) 新規就農者定着や青年農業者育成に向けた活動

○新規就農者交流会

○青年農業者組織活動支援

新規就農後の定着率増加や経営の高度化を支援するため、認定新規就農者への誘導や新規就農者の交流促進事業を開催。また、将来の地域農業の担い手を育成するため、就農後の情報交換や技術研鑽の場として重要になる青年農業者組織の活動を支援。



相双地域新規就農者交流会

3 活動の成果

(1) 関係機関との連携強化

○相双地域新規就農・企業参入推進検討会議

→新規就農者獲得に向けて、関係機関の意欲が向上

支援チームの意識が変化し、新規就農希望者取り込みに向けた連絡体制が強化。マイナビ就農FESTの際には、毎回市町村担当者が参加し、自らの市町村について熱くPR。

(2) 新規就農者確保に向けた活動

○情報発信や就農イベントの開催

→相馬地域に新規就農するニーズが向上 (図1)

平成30年度から令和2年度までに就農FESTに12回参加し、28ブースを設置して227名の就農希望者の相談対応を行っている(図2)。イベント参加者からの就農相談や、短期での研修実施、雇用就農に向けた法人との面談が増加。相双地域就農アンケート及びWEBアンケートにより、イベント参加者の就農意向を把握。今後の新規就農希望者確保に向けて、効果的な活動を展開に活用。

○教育機関との連携

→相双地域の農業体験により、学生の就農意欲は向上

令和2年度に農業高校生を対象にした事前事後アンケートの比較では、農業法人への就職を検討する学生が4名増加(図3)。また農短生では、令和元年度のツアーに参加した学生のうち、1名が川内村の農業法人への就職内定を受け、令和3年度から雇用就農予定。

(3) 青年農業者育成に向けた活動

○青年農業者組織活動支援

→新規会員が毎年増加

新規就農者交流会及び当部の働きかけを通し、会員数が毎年増加(図4)。令和2年度には3名の新規会員が入会し、農業者間の交流が活発化、青年農業者の営農意欲が向上。

○新規就農者交流会

→新規就農者の定着100%

相馬地域において、平成27年度から令和元年の過去5年間に就農した新規就農者の定着率は100%。

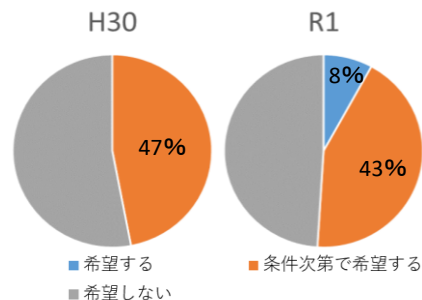


図1. WEBアンケート結果

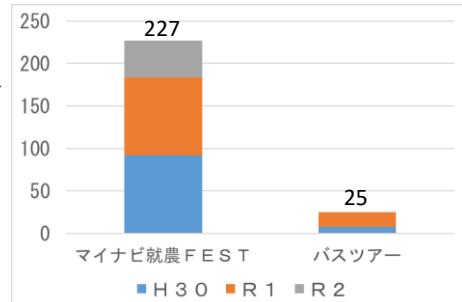


図2. 就農イベントでの対応人数

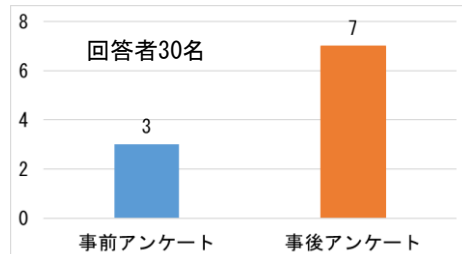


図3. 第一希望とする就職先 (農業法人)

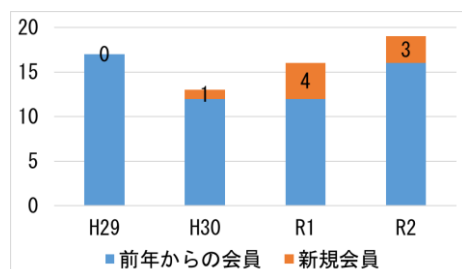


図4. A.C. ハマーズ2001会員数

4 今後の活動・方向性

就農の「啓発」から「支援」そして「定着」まで、
ステージに応じたきめ細か支援で新規就農(希望)者を相双地域へ!!

多様な就農希望者の確保

○相双地域新規就農・企業参入推進検討会議の体制強化

→『相双地域』として、新規就農者を確保支援

○情報発信や就農イベントの開催

→with感染症の就農促進策としてオンラインイベントの拡充

○教育機関との連携

→学生が相双の「今」を肌で感じ、未来の就農へのきっかけ作り

就農後の定着支援

○青年農業者組織への支援

→主体的な組織活動への支援と新規会員の定着

相馬地域農業の維持・発展